

小学校外国語活動実践研修(萩市)の概要をお知らせします。

萩市民館において8月25日(水)に、外国語活動の研修会が行われました。市内外から200名を超える参加者がありました。

研修会は、次のような内容で行われました。

【公開授業 5・6年生合同(TT)】

英語ノート2 Lesson6 「I want to go to Italy. 行ってみたい国を紹介しよう」

萩市立三見小学校 5年担任 ^{あり}有 ^{みつ}光 ^{おさむ}理 教諭
 6年担任 ^{うめ}梅 ^{もと}本 まゆみ 教諭



5年生3人、6年生15人の合同クラスで5年生担任と6年生担任の2人によるTTで授業が進められました。5年生は大勢の6年生に混じって萎縮することなく、元気に活動していました。また、2人の先生の英語によるやりとりが大変おもしろく、英語を使う楽しさが伝わってきました。

本時の学習で使用する英語の表現等に、チャンツを通して慣れる活動では、語数が多く、長めの文もありましたが、子どもたちはリズムに合わせて大きい声で発音していました。主活動は、自作した「旅行ポスター」を使って、行きたい国を理由を付けて友達に紹介する活動でした。自分の思いや考えを表現できて子どもたちは満足そうでした。

【示範授業 6年生(単独授業)】

英語ノート2 Lesson7 「What time do you get up? 自分の1日を紹介しよう」

国立教育政策研究所 教育課程調査官 ^{なお}直 ^{やま}山 ^{ゆうこ}木綿子



自己紹介や名札渡しの活動における、子どもたちとの受け答えを通して、子どもたちとの距離を縮め人間関係を築いていかれる手腕はすばらしいものでした。

具体的には、授業で学習する表現をはじめの自己紹介の中で提示して印象づけ、その後の活動につなげる工夫が見られました。また、時間の言い方について、単に繰り返して覚え込ませるのではなく、起きる時間や寝る時間を、子どもたちに尋ね、問答を通して、慣れさせる指導には、小学校外国語活動の授業の進め方の特徴が表れていました。

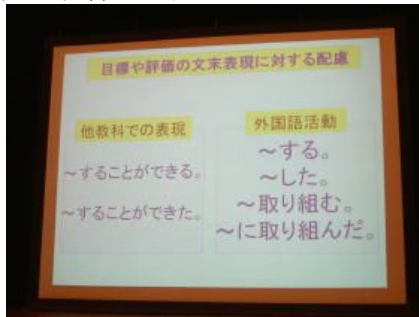
【研究発表】【公開授業・研究発表に対する質疑応答】

萩市立佐々並小学校の研究発表

「豊かなコミュニケーション能力を身に付けた児童の育成」(平成21年度)

「豊かなコミュニケーション能力を身に付け、主体的に学ぶ児童の育成」(平成22年度)

～楽しく学び合う外国語活動の授業づくりを通して～



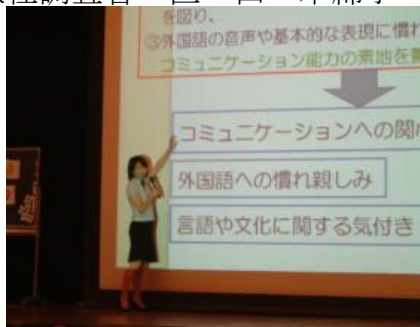
研修主任の正木教諭が研修主題の設定理由・解明方法、研修の実際について約40枚のスライドにわかりやすく整理して説明されました。授業や研修風景、教材の写真が随所で示され、実際の取組の様子が容易に理解できました。他の小学校との合同授業、大学生との交流、進学先の中学校との連携、英語DAYの設定など、ユニークで興味深い取組の紹介がありました。

その後、公開授業、研究発表に対する質疑応答が行われました。複式授業における人数差・学力差に関する質問や、授業の活動に対する意欲付けなどの質問が出されました。

【講演】

「小学校外国語活動の課題と展望」

国立教育政策研究所 教育課程調査官 なお やま ゆう こ 直 山 木 綿 子



公開授業における子どもたちの様子や、御自身の授業の導入での名札渡しの活動による子どもたちの見取りとともに、できるだけ子どもたちに声を出させるように御自身の授業を変更したという説明からお話が始まりました。

公開授業についての講評では、多くの活動をテンポよく実施したが、子どもたちは戸惑うことなく素早く切り替えており、学級経営がしっかりしていることや、二人の担任教諭がモデルとして英語を積極的に使用しているという肯定的な評価がありました。また、二人の担任教諭の仲の良さが5・6年生の子どもたちの仲の良さにつながるという御指摘もありました。

複式学級の指導については、否定的に捉えるのではなく小規模校の良さを活かす工夫をすること、英語ノート1・2の内容を子どもの実態に合わせて入れ替える必要性、5・6年で同一の活動をする場合においては5年生が使用する単語を少なくするなどの配慮が必要であるなどのお話がありました。さらに、全体計画・年間指導計画の作成及び教材の整備を進めること、及び考える活動の具体例の紹介がありました。

その他、小・中学校の指導の違いと連携の重要性、外国語活動の評価について説明があり、大変参考になりました。